



旧針生発電所再開に向けた調査は

町長＝地産地消のエネルギー活用に向け調査

問

小水力発電に
関する調査
(旧針生発電所・田島ダ
ム)の位置づけと調査
内容は。

町長

自然エネル
ギーの推
進、特色ある町づくり、
地域経済や雇用の向上
のために活用したいと
考えています。調査は
自然エネルギーの地産
地消という観点から、
自然災害に強い地域づ
くりや、集落の地域基
盤強化にどの程度活用
できるか、調査してい
きます。

問

2施設の調査
目的は。

具体的には、発電施
設建設を想定し、最大
出力、年間発電量、水
量調査、また建設した
場合に必要になる施設
建設費、認可手続きの
調査を行ないます。

町長

売電目的で
はなく、地
元で作ったエネルギー
を地元で消費するとい
う観点で進めます。送
電、変電設備をはじめ、
消費基地も含めた全体
パッケージとして調査
します。

消費基地も含めた全体
パッケージとして調査
します。



旧針生発電所の状況

針生小学校最終年度の予定 と校舎の利活用は

町長

町長＝地域の皆さんと共に検討

問

開校以来53年
間、地区の
人々に愛され、多くの
子どもたちが巣立って
いった針生小学校が幕
を下ろします。今後、
檜沢小学校と統合し、
新たなスタートを切り
ます。少子化の中での
閉校とはいえ残念で
す。最終年となる来年
3月までの1年間のス
ケジュールは。

問

統合以降の校
舎利用の検討
はどのように行ないま
すか。

町長

地域住民の
方々や各種
団体の代表者で構成す
る「針生小学校施設利
活用検討委員会」を平
成24年度早々に設置
し、検討を進めていき
ます。

教育長

現在、桧沢
地区小学校
統合委員会で統合のた
めの調整作業を進めて
います。今後、校歌や